

AG5 だよ

日本人学校・
補習授業校を
応援します！

2018年度「AG5」の取り組み

—「日本人学校・補習授業校応援サイトAG5」と「補習校教員交流Facebook」—

AG5運営指導委員会委員長・明治大学特任教授 佐藤 郡衛

AG5委員・海外子女教育振興財団 教育相談員(元啓明学園初等学校、中学校高等学校校長) 佐々 信行

4・5月号でもお知らせしましたが、今年度も引き続きAG5の事業を行います。昨年度の事業を基本的に引き継ぎながらも、この事業の主旨である「高度グローバル人材の育成」に特化して取り組みます。今回はその概要と成果を紹介するとともに、これらの取り組みに関してインターネットで発信する「日本人学校・補習授業校応援サイトAG5」及び「補習校教員交流Facebook」についてご紹介します。

佐藤 郡衛

佐々 信行

「AG5」の概要と成果

私たちはこれまでの取り組みから在外教育施設でどのようなグローバル人材を育成できるかを明確にしてみました。これがこの事業の基本的な枠組みになっています。

第一は「広い視野、論理的思考力、適応力、自己表現力などのグローバル型能力と英語力を兼ね備えた人材を育成する取り組み」、第二は「日本語能力・外国語能力を併せ持ち、二つの文化と社会を理解し二つの国の架け橋になる人材育成の取り組み」、第三は「世界各国の日系人及び現地コミュニティにおけるリーダーとなるグローバルな人材育成の取り組み」、そして第四は「日本社会・文化、日本語を理解し、日本を支援する親日的な人材育成の取り組み」です。これらは日本人学校や補習授業校での今までの実践がベースになっています。

日本人学校における高度グローバル人材の基礎的資質形成のためのプログラム開発—香港日本人学校香港校小学部での取り組み—

今年度、香港日本人学校香港校小学部の「グローバルクラス」は小学

部四年生から六年生までの三クラスになります。これまでの取り組みを通して、実践を進めていく上での課題がはっきりしてきました。その一つが算数・理科の英語イメージによる授業の改善です。英語で算数と理科を学ぶために教科固有の抽象概念の理解を深めるための支援が必要ですが、その方策について検討します。

また、独自教科であるグローバル・スタディーズの小学六年生用の単元開発を行う上での支援を行います。

日本国内で国際バカロレア(IB)のPYP(三〜十二歳対象)に準じたカリキュラム開発を行っている東京学芸大学附属大泉小学校と連携し、特に先生方の研修や単元開発の支援を行うべく予定です。

また、「グローバルクラス」の一期生が小学六年生になりますので、小学部との接続が課題になります。中の一貫したカリキュラム・指導方法・評価方法・中学校の英語教育について協同で検討していきます。

日本人学校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成のためのプログラム開発—台北、台中、高雄日本人学校(台湾)での取り組み—

台湾の日本人学校には国際結婚家

庭の子供が多く在籍していますが、こうした子供たちをバイリンガル・バイカルチュラルな人材として育成することは、グローバルな視点から重要な課題です。そのためには日本人学校で学ぶための日本語力を伸ばしていく必要があります。その際、子供たちの生活背景や文化的背景を考慮した日本語指導のプログラム開発が必要です。

台北日本人学校では、昨年度、生活科をベースにした日本語教育に関わる単元を開発しましたが、今年度も小学一・二年生を対象にした総合的な単元開発を進めていきます。

台中日本人学校、高雄日本人学校では、日本語と教科の学習を統合したJSL指導の観点を入れたプログラムの開発を検討します。

昨年、台北日本人学校に取り組みをコーディネートする先生が配置されましたので、台中、高雄の日本人学校と連携して子供の実態に即したプログラム開発とそのための研修を進めていきます。

また、高雄日本人学校は現地の中正国民小學の校舎に入っており、両校の先生が行き来して日本語と中国語の授業を行い合っていますが、これは大変注目できるものです。実践する先生方の負担を軽減し、こうし

た取り組みを効果的に進める支援策を検討します。

補習授業校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成のためのプログラム開発—ダラス補習授業校（アメリカ）での取り組み—

ダラス補習授業校では、昨年度開発した「発見！ わたしたちのテキサス、わたしたちの都道府県」という単元を通して、日本語で考え、調べ、発表するという学習を行ってきました。AG5では協同の学習への支援を行いました。子供たちの日本語で考える力、発表する力が大きく向上することがわかりました。今後、小学四〜六年生用の各二単元の学習活動計画を作成していきます。

また、ダラス補習授業校が開発した単元について、オースチン、クリーブランド、コロンバスOH、シカゴ、シンシナティ、セントルイス、ワシントンDCの各補習授業校で実践し、その内容・方法についてTV会議などで協議できるシステムづくりを行います。後述する発信サイトを大いに活用し、補習授業校の実践のネットワークの構築を目指します。このほか、補習授業校の高等部にも注目していきます。高等部の生徒は、英語も日本語も駆使できる高度

なバイリンガル人材として注目できます。そこで、高等部の生徒を対象にした効果的な取り組みについて調査・支援を行っていく予定です。

南米日系人及び現地コミュニティにおける日本語教育・日本型教育・日本文化の発信・普及のためのプログラム開発—アスンシオン日本人学校（パラグアイ）での取り組み—

南米の日本人コミュニティは、日系人や日本人としてのアイデンティティをいかに保持するかが大きな課題です。そこで、アスンシオン日本人学校が中心になり、日本文化の発信及び、日系人・日本人としてのアイデンティティ形成を促進する体制をつくっていきたくと考えます。

現地の日系人や日本人の教育機関であるアスンシオン日本語学校と日本パラグアイ学院への支援を今年度も行っています。アスンシオン日本語学校での国語や日本語の指導に関する合同研修会を行ったり、日本パラグアイ学院での武道や音楽等の普及策についても検討したりする予定です。

なお新たな取り組みとしては、アスンシオン日本人学校の小学三・四年生用の副読本の改訂があります。新学習指導要領に準拠して改訂しま

すが、この副読本をアスンシオン日本語学校での日本語の教材としても活用できるように開発を進める予定です。日系人の歴史や日本との結びつきなどの内容も入れ、日系人・日本人としてのアイデンティティを形成する一助にしたいと思います。

学校図書館を活用した日本文化等の発信のためのプログラム開発—西大和学園カリフォルニア校（アメリカ）での取り組み—

親的な人材育成は、グローバルな社会ではますます必要になります。そのためには、日本社会や文化を身近に感じてもらえる取り組みを日常的に行っていくことが大切で、在外教育施設は、そうした役割を担っていくことが期待されます。

西大和学園カリフォルニア校では、学校図書館を活用して日本文化を発信するための多様な活動を行っています。交流している現地校や地域住民を対象に日本文化を発信するイベントを開催したり、それに関連する図書や資料を開放したりしています。このほか、本年度は近隣の学区で日本語を第二言語として指導している現地校の教員を対象に日本語指導に関する資料を提供するほか、二〇二〇年の東京オリンピック・パリリ

ンピックに関連する資料や、全米日系人博物館の協力を得て日系人の歴史を中学生が学習するための資料を整備することになっており、必要な支援を行っていきます。

なお昨年度、上海日本人学校を拠点に行った学校採用教員の研修プログラム開発については（四月号参照）、今後、他の日本人学校への横展開を図りたいと考え、本件に関しては海外子女教育振興財団で別にプロジェクトを立ち上げて進めていくことにしました。

インターネットで発信します！

AG5ではウェブサイトとTeebooksを活用し、日本人学校・補習授業校の課題解決とグローバル人材の育成のために、教育現場の課題や悩みを持ち寄れる場をつくりました。世界各地の実践を通じて「解決」を目指すものです。

成果発信サイト「日本人学校・補習授業校応援サイトAG5」のご案内

（URL: <https://www.ag-5.jp/>）

● AG5 研究レポート

昨年度にスタートしたAG5ですが、提携校や協力校をはじめたくさ

んの方々の協力を得て、すでにいろいろな成果を上げています。取り組みの中で分かってきたことや開発したプログラム等をこのサイトでお知らせしていきます

各テーマの研究レポートは具体的なトピックごとにコンパクトにまとめてあります。順を追って読んでいただいても、面白そうなところから少しずつ見ていただいてもよいかと思えます。

ダウンロードできる資料もあります。単元の学習活動計画やワークシートなどは、すぐに授業に役立てていただけると思います。「新着ニュース」のコーナーでは、「今」の取り組みをご紹介していきます。

●発表ブース

「グローバル人材の育成」は今に始まったことではありません。海外でも国内でもすでにたくさん研究や実践が行われています。これらの成果を持ち寄り学び合えば、課題を解決し、新しいアイデアを生み出すための大きな力を得られるでしょう。ぜひ、お手元にある研究成果や実践記録、教材、さらには新しい提案などを投稿していただければ幸いです。

ここに情報を蓄積して、必要な時に必要なものが取り出せるライブラ

リーをつくっていききたいと思えます。一枚のワークシートから大規模な研究の結果まで、日本人学校や補習授業校の教育に役立つ内容を幅広く提供していただけますよう、お願いします。

また、既存の文献や研究結果等でもご紹介したいものがある場合は、お知らせいただければ、その著者等にここに発表していただけるよう働きかけ、皆で使える財産を増やすよう努めます。

●談話室

気軽に意見や情報を交換するコーナーです。日本人学校や補習授業校に関連する意見や情報を投稿して交流に役立てていただきたいと思えます。イベントなどの広報の場としてもご利用ください。学校でのエピソードなどをご紹介いただけましたら、楽しくなるかと思えます。

海外子女教育振興財団が入手した海外・帰国子女教育関連の情報も随時お知らせしていきます。見れば何か面白いものがいつでも見つかるページにしていきたいと思えます。

●資料室

各種調査報告、AG5だより、文芸作品コンクール優秀作品、関連サイトリンク集の各コーナーがあります。なお「各種調査報告」には、す

でに昨年度に実施した「補習授業校インタビュー調査」「補習授業校の子ども学習状況調査」の興味深い結果が掲載されています。

●AG5情報

「AG5」の概要や最新の情報をご覧いただけます。

「補習校教員交流Facebook」ご案内
(<https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>)

以前より、たくさん補習校の先生方から、情報交換や交流の場が欲しいというご希望がありました。同じような立場の先生たちが力を合わせれば、課題を解決したり、よりよい方法を見つけたりすることができ、限られた時間の中で、世界各地で働いている先生たちが交流するのはなかなか難しいことです。そこで、海外子女教育振興財団の職員が管理者になってTEACHERSのグループを立ち上げました。補習校の先生たちと応援する人たちがつながり、力を合わせる場として利用していただきたいと思えます。

たくさんの方々に参加していただくことで、このグループを楽しく有益なものにすることが出来ます。ぜひメンバーになって、交流の輪に加わっていただけますよう、また関係

の方々にご紹介いただけますよう、お願いします。

プライベートな写真や情報、家族や友達とのニュースなどは、限られた人だけに閲覧可能な設定にできるほか、「公開グループ」なので、メンバーでなくてもグループのやり取りを見ることが出来ます。

なお、匿名可能なSNSで懸念される無責任な投稿を防ぎ、責任を持った交流を続けるために、このFacebookは実名で登録・活用していただくことになっています。まずは、ぜひ一度ご覧ください。

成果発信サイトの「談話室」からも入れます。



日本人学校・補習授業校応援サイトAG5
URL: <https://www.ag-5.jp>